



まちだの新たな 学校づくり通信

Machida New School Project 2040

2022年11月15日発行

南第一小学校地区

- 1頁 基本計画検討会
引き継ぎたいもの・こと
- 2頁 配置イメージ・学校名
- 3頁 通学の負担軽減・安全対策
- 4頁 アンケート結果速報

ともに学び、ともに育つ学び舎づくりを目指して

【発行】町田市教育委員会

みんなで考えています！まちだの新たな学校！

南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会の検討状況

前回の9月8日号に引き続き、「南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会」の検討状況をご紹介します！

第4回（2022年9月12日）

- ①学校名変更の有無
- ②建物配置案
- ③通学路の安全対策
- ④育てたい子ども像
- ⑤新たな学校に
引き継ぎたいもの・こと
- ⑥報告書の内容確認

第5回（2022年10月24日）

- ①新たな学校に
引き継ぎたいもの・こと
- ②建物配置案
- ③通学の負担軽減
- ④学校施設の利用需要調査
アンケートの結果
- ⑤報告書の内容確認

■ 基本計画検討会開催予定日

第6回
2022年12月19日

【検討の進捗状況を
随時更新中】



次回、最終回！



新たな学校へ何を引き継ぐ？

引き継ぎたいもの・ことについて検討しました！

南第一小学校の歴史や伝統のうち、新たな学校に「何を」、「どのように」引き継いでいくか検討をしました。デジタル保存するものについては、HPでの公開や冊子の作成など、保存方法を学校と相談していきます。なお、単独建替えであることから、行事や活動等の引き継ぎたいことについては引き継ぐことを前提とし、検討の対象外としました。

＜検討における4つの視点＞

- 教育活動への利用の視点
子どもの教育のために利用できる物品か。
- 施設的な面積の視点
学校施設（校庭や校舎など）の面積などから、教育活動に支障がないか。また、新校舎建設中の保管場所をどうするか。
- 代替の可能性の視点
他施設等での代替が可能か。
- 費用面の視点
引き継ぎの際に必要な移設費用等。

■ 引き継ぐもの

- ケヤキ
- 校歌板（体育館）
- 賞状、写真、郷土資料等



ケヤキ



校歌板

■ デジタル保存するもの

- レリーフ（絵や彫刻など壁掛け作品）
- サイン（室名の看板、下足入れの表示等）
- 樹木（ケヤキ以外）
- 石碑等



新たな学校にも歴史を
引き継いでいくよ！

学校が遠くなる児童のために

路線バスでの通学も検討していきます！

町田市立学校は徒歩による通学を基本としていますが、学校の場所が変わったり通学区域が広がることで通学距離、通学時間が長くなってしまいう児童がいます。検討会では、そのような児童の負担をどうしたら軽減できるか検討してきました。

徒歩以外の通学手段として、教育委員会で検討している「路線バスが通学に利用できるかどうか」を判断するための考え方の視点で南第一小学校地区の状況を調査した結果、路線バスを利用できることを確認しました。そのため、スクールバスなど他の通学手段は含めず、徒歩または路線バスでの通学を前提として、引き続き検討していきます。

＜教育委員会における主な検討項目と考え方＞

通学時間

自宅から学校まで、路線バスを利用して30分程度で通学できるかどうか

運行量

通学時間帯の路線バス本数が極端に少ない路線でないかどうか

利用時間

通学時間帯の路線バスの混雑状況が、児童が通学に利用できる程度かどうか



＜委員から出た意見＞

- 時間通り乗れるか心配。1本乗り遅れたらどうなるか。
- バスに乗ったか、目的のバス停で降りられたか確認できる手段が欲しい。
- バス停の狭さが心配
- 社会勉強としてもバスの乗車方法を学んでいってくれたらいいなとも思う。

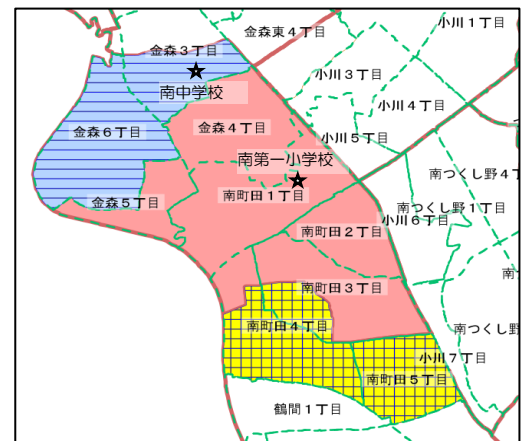
安心して通学するためにはどうすればいい？

通学路の安全対策について検討状況をお知らせします

2025年度（南中学校敷地内の仮校舎に通学）及び2028年度（現在の南第一小学校の位置に建つ新校舎に通学）の通学先や通学区域の変更にあたり、想定する通学路について、検討会で意見交換を行いました。これらのご意見を踏まえ、新しい通学区域の通学路設定に向けてこれからも引き続き様々な関係者の方々と検討を進めていきます。

＜委員から出た意見＞

- 歩道がなく、道幅が狭いところがある
- スピードを出している車が多く危険
- ミラーや、減速を促す表示を増やしてほしい
- 旗振り、見守りを増やしたい
- 不審者対策も必要



凡例

- 現在は南第一小学校
2028年度から南第四小学校
- 現在は鶴間小学校・南つくし野小学校
2028年度から南第一小学校
- 学校の位置

＜通学路とは＞

法令において「児童が小学校（特別支援学校の小学部を含む。）に通うため、1日につきおおむね40人以上通行する道路の区間」のほか「児童が小学校に通うため通行する道路の区間で、小学校の敷地の出入口から1キロメートル以内の区域に存し、かつ、児童の通行の安全を特に確保する必要があるもの」とされています。

町田市立小学校においては、毎年度、児童の分布や道路の交通状況等を勘案して学校長が通学路の指定及び通学路図を作成しています。

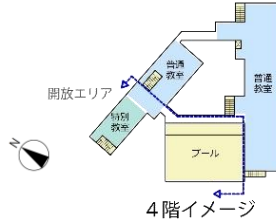
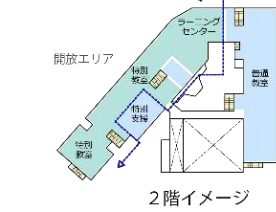
新たな学校はどんな配置になるのかな？

学校施設の配置イメージ

学校施設の配置について、前号に掲載した配置イメージ図3案のうち、検討会で頂いたご意見を基に、A案から、さらに2つのイメージ図を作成しました。この配置イメージ図を参考に、学校を建設するにあたり大事にしたいこと、気になることなどを話し合いました。いただいたご意見は、今後、設計などに活かしていきます。

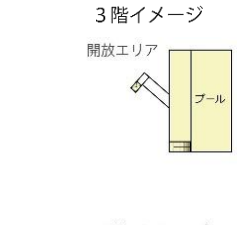
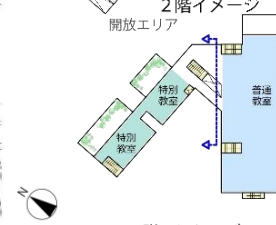
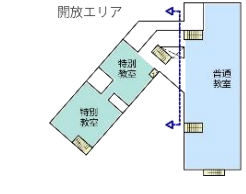
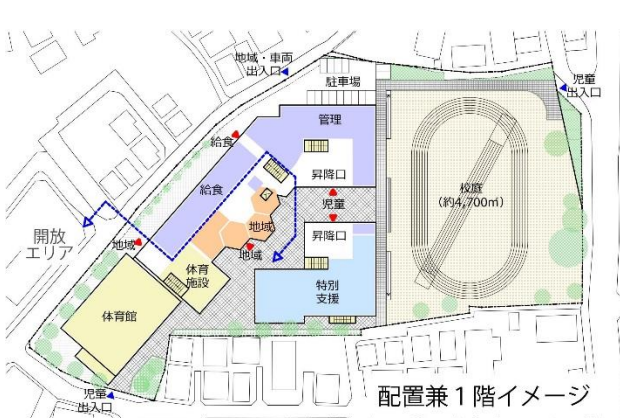
この2つのイメージは議論するために作成したものです。いずれかを選定するものではありません。

<A-1案> 特徴：体育館と校庭が近く避難施設として利用しやすい、南側の道路から車両が入れる



子どもだけでなく、
教員や地域の方みんなにとって使い
やすい学校になるといいね！

<A-2案> 特徴：校庭が広い、学校専用エリアと地域開放エリアの区分けが明確



<委員から出た意見>

- 体育館と校庭が近いと災害時に避難所として使いやすい
- 児童出入口と地域・車両出入口が近いのは安全上よくない
- 学校専用エリアと地域開放エリアの区分けは明確になっている方がよい
- 花壇や畑のスペースを確保するために、校庭は広い方がよい
- プールが5階にあると利用しづらいのではないか



新たな学校の名前はどうか？

新たな学校の学校名

2022年5月23日から6月17日にかけて実施した「南第一小学校地区新たな学校づくり意見募集」における学校名の変更に関する回答結果と、第3回検討会における検討会委員のご意見を踏まえ、南第一小学校の学校名については、変更しないこととなりました。

学校でどんなことがしてみたい？

学校施設の利用需要調査アンケート結果速報

2022年8月15日～9月16日に統合・建替えの検討を進めている5地区を対象に実施した「学校施設の利用需要調査アンケート」では、新たな学校の特別教室等を使って行いたい活動や、ご家族やご自身で受けてみたいサービス等について伺いました。回答結果の速報をお伝えします。

たくさんのご意見
ありがとうございました！



■ 回答者数（人）

全体	児童	地域住民(未就学児の保護者)	児童の保護者	学校開放の利用団体	近隣の施設利用団体	地域住民(町内会・自治会)	地域住民(それ以外)
3,487	2,024	289	531	39	544	41	19

■ 主な回答内容

問：学校施設を活用して受けてみたいサービスは何ですか。〈選択回答〉

(回答者数：児童 2,024人 児童以外 1,463人)

児童

- 1位 スポーツの習いごと
- 2位 授業で分からなかったところや宿題を教えてくれる
朝ごはんや夕ごはんが食べられる
- 4位 スポーツ以外の習いごと
- 5位 スポーツではない体験ができるイベント

児童も大人も1位はスポーツの習い事だね。スポーツ以外にも習い事に対する需要が高そう。児童からはご飯提供も需要がある一方で、大人からは放課後のあずかり等の需要が高くなっているね。

保護者、地域の方、施設利用団体

<児童向けサービス>

- 1位 スポーツの習いごと
- 2位 スポーツ以外の習いごと
- 3位 学習塾
- 4位 学校が終わった後のあずかり
・見守りの延長
- 5位 文化イベント

<地域向けサービス>

- 1位 スポーツ教室
- 2位 文化イベント
- 3位 文化教室
- 4位 健康づくり教室
- 5位 子育て支援



問：学校施設のどの場所を使って何をしたいですか。〈選択回答〉 (回答者数：905人)

活動場所

- 1位 体育館
- 2位 校庭
- 3位 多目的室(多目的ホール)
- 4位 音楽室
- 5位 家庭科室

活動内容

- 1位 屋内球技
- 2位 体操
- 3位 その他屋外スポーツ
- 4位 屋外球技
- 5位 ダンス
音楽(楽器)

現在も貸出をしている体育館が1位だね。運動できる場所が求められているのかも。

